

積丹ジュニアスイミング

著しい成長

期待膨らむ子どもたち

9月6日、第13回トビウオ水泳大会が寿都町で行われ、6町が参加する中、積丹ジュニアスイミングのメンバー25人が出場、小学1・2年女子25m自由形で芳村由羽さん、小学生男子100mリレーで同クラブチーム（長谷川孝行くん、佐々木亨くん、畑谷圭治くん、長谷川真富くん）の優勝を始め他のメンバーも好成績を収めるなど活躍が続いています。

積丹ジュニアスイミングは現在、町内小学校1年生から美国中学校3年生まで30人で活動しており、町の海洋センタープール閉館後も、9月中は古平町B&G海洋センタープール、10月から12月までは余市町営プールを利用し、週2回の練習に励んでいます。加えて昨年からは小樽市まで練習の場を求め1月から3月まで月2回は高島にある温水プールを利用するなど練習回数を増やしています。技術の向上には、水中での感

覚を忘れないよう常に水に慣れさせておくことが重要で、「水泳がうまくなりたい子どもたちの強い気持ちと、何より先生の子どもたちに対する熱意が、保護者の方々に伝わり、それが行動になって表れてきている証拠だと思います。」と同クラブ会長の西川里佳さんは話します。

熊井美津枝さんとの出会い

かわらぬ熱意と情熱で17年

積丹ジュニアスイミングは、



日本水泳連盟上級水泳指導員、日本エアロビック連盟第2種アクアビック指導員、日本泳法向井流人の巻ほか資格多数。北海道代表として国体にも出場。小樽市在住。74歳。

水泳の楽しさを伝えたい

いつか指導者を育てられたらいいですね

突出したスイマーを育てることよりも、落ちこぼれを出さず全員が平等に泳ぐことができるよう基本をしっかり教えていきたいと考えています。

練習では、泳ぐことを嫌いにならないよう、楽しい練習メニューを中心に、よくできたらたくさんほめてやる。そして練習が終わったときには「今日もおもしろかった。」と思ってもらえるように心がけています。

また、子どもたちには町のプールを広い範囲を使って練習できることを幸せに感じてほしい。町外ではこれほど恵まれているところは他にないと思いますね。

私がこの年齢までやっているように水泳は生涯スポーツ。子どもたちにはいつまでも水泳を続けてほしいし、この中からいつか水泳の指導者を育てることができたらいいですね。



平成2年のB&G海洋センター完成のあわせ設立。当時は、育成士の資格をもつ町職員が指導にあたっていました。しかし業務の合間での指導には限界があり、保護者らは専門での指導者を町外に求め、平成4年から現在まで熊井美津枝さんが一人で指導にあたり今年で17年目となります。

また保護者らも毎回6〜7人が交替で練習を見学し、声を出して応援しています。現在、10月12日に余市町で行われる水泳大会に向け練習に余念のないジュニアスイミングの子どもたち。西川会長は「このクラブも順風満帆にきたわけではありません。部員が少なく活動も危ぶまれた時期もあった中、ここまで築いてきた先輩たちに感謝を忘れないとともに、この少子化の時代にあって、これだけの子どもたちが集まって活動しているのは大変なこと。それだけ責任をもって、これからもみんなと一緒に考えて、活動を続けていきたいです。」と話してくれました。

新たな農業委員会 委員決まる

9月29日任期満了に伴う、積丹町農業委員会委員選挙が8月29日告示され、定数と同数の7名が立候補し、無投票で当選されました。

9月4日には、町総合文化センターで、磯野久治選挙管理委員会委員長より当選人一人ひとりに当選証書が手渡されました。

今回当選された委員は平成23年9月29日までの3年間、積丹町の農業振興のためにご活躍されることとなります。

氏名	住所	年齢
岩本 勝男	野塚町	63歳
海田 龍一	野塚町	73歳
松葉 和弘	婦美町	52歳
郷六 光幸	野塚町	58歳
森本 秀夫	婦美町	48歳
佐藤 智	婦美町	74歳
高野 健治	婦美町	59歳

※立候補届出順。年齢は平成20年8月29日現在。敬称略。

声援をうけ 23km生徒全員が完歩

美国中学校競歩遠足

美国中学校（坂下肇一校長）

は9月12日、町内の国道229号など海岸線に沿って競歩遠足を行い、23・8kmのコースを生徒58人と教職員5人が完歩しました。

長距離を歩くことで辛い中で目標達成感や仲間意識などを育てようと全校一斉に行っているもので、午前9時に坂下校長の号砲で婦美町のグリーンホリデーを出発。タイムを競って走ったり、互いに励まし合いなが



ら最後まで歩く生徒などそれぞれのペースでゴールの余別町サンクチュアリーセンターを目指しました。

ゴール地点を含めた5箇所のチェックポイントには保護者らがつき、到着タイムの記録、給水、飴やチョコの配付を行ないアイスの差し入れする人もいました。

2時間30分のトップでゴールした川崎輝君（3年）は「最初からトップを狙っていました。途中で落としたチェック表を拾いに1km戻った時には気力もなえそうになったけど最後まで強い気持ちを持って走ることができました。」と話していました。午後2時半、最後の生徒が到着すると、待っていた生徒らがアーチを作って迎え、生徒全員が完歩しました。生徒の皆さんお疲れさまでした。

第34回 小学校陸上競技大会

走った! 飛んだ! 投げた!

町教育委員会が主催する第34回積丹町小学校陸上競技大会が9月11日、好天に恵まれた中、研修広場で行われました。

町内全校の小学校児童が一堂に会するこの大会、選手を代表し日司小6年の佐藤舞祐さんが力強く元気に宣誓を行い競技がスタート。短距離走や走り幅跳び、ボール投げなどの各種競技で熱戦が繰り広げられました。特に、最終種目では今年新たに2学年ごとの学校混合500mリレーが登場、全児童が参加し、走るたびに順位が入れ替わる抜きつ抜かれつの白熱したレース展開に、子どもたちからは「頑張れー」「負けるな」など熱い声援がおくられていました。また今年は、2種目で大会新記録が達成されております。



【新記録達成者】
◆4年ソフトボール投げ（男子）長谷川真富くん（美国小）
◆6年800m走（女子）松浦ほのかさん（美国小）

びくに・みなと保育所

運動会

みなと保育所は9月2日に日司緑地広場で、びくに保育所は9月9日に美国憩の広場で恒例の運動会がそれぞれ行われました。

秋晴れの好天の中、子どもたちは元氣一杯にところ狭しと走りまわったり、一生懸命練習をした遊戯を披露するなど大活躍。またお父さん、お母さんも綱引きや対抗リレーに参加したり、わが子の晴れ姿を写そうと、カ

メラやビデオを片手に大きな声援を送るなど大忙しながらも広場内には笑い声の絶えない楽しい運動会となりました。



▶みなと保育所